

卒業生にインタビュー

今後、ホームカミングディにて、会長からインタビューを

ご依頼します。ご協力の程、宜しくお願いします！

「金蘭千里での出会い」

石原 瑠璃子氏

四十一期 卒業生

金蘭千里の友人との交流は長くて十一年にもなり、その長さにはいつも驚きます。今も続く交友の中で友たちが其々に頑張る姿を見聞きしては刺激をもらっています。魅力溢れる友たちと出会えた事は私にとって宝であり誇りです。

在学中は、放課後自習室に残り、疑問点を先生に質問しては丁寧に教えて頂いた事をよく覚えています。ホームカミングディに参加した際も、在学中と変わることなく先生方が親身に話を聞いてくださりとても嬉しく思いました。

私は現在大学院で日々研究の奥深さを痛感しています。来春からは社会人になります。今後も金蘭千里で出会えた友たちと

互いの近況を語り、

健闘を称え合える

日を心待ちに、歩み

を進めていき

たいと思います。



卒業生による講演会

「中一対象」

平成二十四年六月十一日(月)

(株) テルミーソリューションズ

代表取締役社長

山本光平氏 (七期生)

「今をどう生きるのか」

～与えられたものと、自分で見つけるもの～

毎年、中一一生がお世話になっている山本光平氏は、金蘭千里で学んだこと、大学卒業後のご自身の波乱万丈な人生について、その失敗や成功など様々な体験についてお話頂き、生徒達にとっては、豊かな発想を持つことの大切さ、やる気を持つて物事に取り組むことの大切さを学べる貴重な機会となりました。

(森脇)

「中三対象」

平成二十五年二月二十五日(月)

(有) 原島マネジメント研究所 所長

原島俊郎氏 (七期生)



「働くとはどんなこと？」と題する講演で、働くことの意味や職業選択を考えるきっかけとなる内容を、生徒達に質問を交えながら解りやすくお話いただいた。

前半は、アメリカの心理学者ホルランドの考えに基づ

いて自ら考案し作成された「ハピキャリキット」と称する道具を用いてのお話で、生徒達は楽しみながら自らの適性(興味の対象)について考えた。

後半は、そのホルランドの提唱する六つの興味の対象(ホランドタイプ)をもとに、誰もが自らに適した職業の選択が可能であること、そして自らの興味と仕事に合っていれば満足感を得やすいことを話された。この興味の対象は、日々の生活の経験が大きく影響して形作られていくので、今、中学・高校での生活を大切にして欲しいと話を結ばれた。

(林)

「高一対象」

平成二十四年六月十六日(土)



六月十六日、高校一年生対象に進路講演会が開催されました。

直近の卒業生は二人。長尾さんからは

「今は勉強は勿論、学校の行事などにも積極的に

参加すること。自分の周りには部活に入ってから成績が落ちたというよう

な人は一人もいない。」と、前川君からは「学校の先生を信頼し、最大限に活用せよ。授業に真剣に取り組め。」と、それぞれ熱いエールを頂きました。

また6年前の卒業生千田さんからは、大学時代の学業と研修医としての現在のハードさをリアルに語ってもらいましたが、「どれだけ忙しくても、患者さんからの感謝の一言に救われる。今も毎日が勉強。」と社会人らしい真摯な言葉を頂きました。三人の先輩達に感謝・感謝です。

(桑木)

講演者の言葉



大阪大・医保 1年
長尾日香里さん (45期)

進路について、将来何をしたいかを決めかねている人は、まだ時間的に余裕のあるこの時期に、色々な職業について調べたり、夏休みなどを利用してオープンキャンパスに行ったり、自ら行動してみてください。そうすればきっと何かやりたいことが見つかるはずです。進路選択は、将来の自分にも関わる重要な選択なので、焦らずにしっかりと自分の納得いくまで考えてください。



京都大・法 1年
前川 壮太さん (45期)

進路なんて考えてもなかなか見えてこないし、しゃかりきになって勉強したって頭にはなかなか入らない。だから結論や成果を急がず、気持ちに余裕を持ってほしい。勉強や進路選択も大切だが、それにかかりつきりにならずに、日々の一瞬一瞬や学校行事、友達との遊び等も大切にしてほしい。そうすればおのずと、将来の展望も漠然と見えてくるだろうから。



大阪市立大・医 卒業
済生会千里病院研修医
千田麻里子さん (39期)

高校生の時は、まずは自分が将来どんな価値観で、どんな生活を送りたいかしっかりと考えて下さい。具体的にイメージが湧かなくても、考えようとするその姿勢が、将来に繋がると思っています。そして、その思い描いた将来の自分に少しでも近づけるよう、頑張ってください。何事にも積極的に、真摯に取り組んで下さい。応援しています。